



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞いて、戦争のうさぎわを
しることができて、よかったです。
原爆にについては、夏休みにも路面電車
にについて調べましたが、その時のア
メリカの考えや、原爆のメカニズムに
についてはしうなかつたのでとてもきつう
な話を聞いてよかったです。

池田義三さんはトラックに人を
のせようとしたのに、落ちていくのを見
て、とてもくろしかつたと思います。

原爆は、とてもまじりかたなのに、「ソ
トルボー」という名前がのこりになり
ました。太陽ほじのあつせの物が、
近くに落ちてきたと思うと、とてもこわ
いです。

この戦争のことは、次の人々につた
えていくことが大切だと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆で投下されたものをリトルボーイ日本語で少年と知ったのを初めて知りました。今日原爆先生の話しを聞いていろいろなことを知りました。また知っていたことも、とくわしく知れました。おどろいたことは原爆の威力で7000°というのは太陽より熱く一瞬太陽が600m上にきたぐらいだ"と思います。また衝撃波が毎秒440mで音速より速いのはとてもおどろきました。また目的地より200mしかはなれていなかったのはおどろきました。アメリカはそんなに正確にできるようになっていたんだな~と思いました。今日はとてもいい経験になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/6

原爆先生の話を聞いて、私は、原爆がこの世からなくなればいいなと思いました。

なぜなら、原爆は、たとえ命が助かっても、後遺症などが残り、苦しませなければならぬおそろしい兵器だからです。

そして、原爆をなくするためには、次の世代に伝えるいくことが大切かなと思いました。

こういう大切なことに気がさせてくださった先生に、感謝します。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/6

死者14万人という、想像もできないほどの方々が、世からさ、てい、たことに、ビククリという感情もなく、ただただ呆然とするだけだ、た。原爆投下後の、広島を見た、池田さんは、言葉で表現できないほどの景色だ、たと思う。手をななめ前に伸ばし、歩く人々、やけどで、体中が赤くそま、ている人々、想像するだけで、胸が痛くなる、そして、その人々を焼却作業。き、とっさか、たことだろう。いっも立、ている地面が、3000℃ともな、て、一瞬で消えていく人。体の水分が、一気に蒸発してしまふなんて、ありえないようで、ありえた話なんだと感じた。いっかTVで見たきのこ雲。それは、熱で雲が広が、てい、てきのこ型に見えるのは初めて知、た。ちりでどす黒い。いや、そんな色ではない。と池田さんは言、ていた。急に大きな音があり、あたりが暗くなり、なにがおこ、ているかなんて、分からな、たと思う。私は池田さんの話を聞いて、心に残、たのは、広島の実現像を見て、『きれいすぎる』と言、ていた。という話です。私が、問、いかけた原爆の雰囲気とは、表しても表しきれない、心の中の傷だ、たのかもしれない。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

今まで原爆の事は広島と長崎に原爆が落とされ、大きい
むがいがあつた、ということを手となく知つていたをけ
た。今日の授業で教えてもらつた事はそんな自分には
衝撃的だつた。最後の池田義三さんのビデオは、とても
印象に残つてゐる。単純な言葉で表せないような原爆の
記憶を語つてくれた姿に辛くなつた。辛いなんてものでは
無い事は分かつてゐる。どれだけ頭の中で思つた事でも原爆に
苦しんだ人達にはとどかないけれど、話をきいてゐるをけで吐
息が苦しくなつた。

今日この授業で学んだことほぼ全てがけはじめで知る事
だつた。絶対に忘れたくない授業だつた。今日の一日は
亡くなつた14万人の方々が暮らしたか、た一日だ"と思つた。
恥ぢないように、一日を大切にしたいと思つた。

原爆についての事実は、語りついで行きたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/6

私は、1945年8月6日に、広島で原子爆弾が投下されたことは知っていましたが、当時の状況は全く知りませんでした。なので、原爆先生のお父様が実感した戦争の残酷さには、おどろきました。例えば、川周辺の遺体焼く際、遺体を運ぶときに、死んだ人の顔が見えてしまったり、うじ虫がたくさんついてしまったというのは、想像するだけで私はふるえてしまいました。

私は、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して、戦争のむごさを後生に伝えるという大切さを知りました。原爆先生も私達に戦争を教えるというのはとても辛いことだと思います。しかし、戦争は後生に伝えれば、二度とあつることはありません。私も、そんな思いで、おばあちゃんにならたら、子どもや孫に語りつぎたいと思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業も受けて広島に落
とされた原爆のことも知りました。広島に落とさ
れた原爆のせいでもその時広島にいた人たちは大に
へんなことになったそうです。その時広島にいた原爆先
生のお父さんのことを自分のマモのように話していま
した。原爆先生は広島の様子や原爆を
落とした原因^①のマモまで説明していました。
クイズなどもしていました。今回の授業で
少しは広島のことを知りました。日本人と
してわすれないうちにおきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今、だんだんと被爆された方は少なくなってきているけれども、今回のように、小学生など、体験していない人に、写真や映像を使って、原爆のおそろしさなどを伝えていくのは、いいと思います。

このような話を聞いた私も少しずつ後の人たちに伝えて戦争はいけないことと知ってもらいたいです。

ここからの活動も、がんばって下さい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/6

原爆先生のお話を聞いて、原爆のおそろしさを改めて感じました。広島に原爆が投下されたのは、昨年原爆ドーム、平和記念資料館に行ったので分かっていました。しかし原爆を体験した人の話を聞くと、知らないことをくわしく教えてもらえたので、良かったです。今回は、原爆先生のお父さんが原爆にあった時の話をしてくださいました。また、なぜ広島、長崎に投下されたのかそして原子爆だんのごとについて教えてくれました。一番心に残ったのは、被害にあつた人たちの姿です。その姿は、皮肉がめくれている、だらんとたれていました。それを見て原爆は、一瞬の間にたくさんの人を悲愴な姿にしたことにおそろしいと思いました。お話の最後に原爆先生は、今世界中の国々が原子爆たんを持っていると言っていました。私は核兵器のおそろしさを世界中の人々に知ってもらふこととすぐに争いをするのではなく話し合つて決めることは大切だと改めて感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆の事をくわしく聞いた事は初めてではないけれど、やはり話を聞いて、衝撃を受けた。また、家族が被爆した人、自分が被爆した人などの話はよく聞いてきたけれど、現地で暮らした人々の処理をした人の話は初めて聞いた。どんな人に聞いても、現地は悲惨な状況だったと聞く。でも、立場によっていろいろな視点もあり、様々な話がある事が今回分かった。話を聞いて、一番心に残った所は、とくなく、おらあ、足をげかした女の人をおいびって命のあたたかせを感じたという所だ。息絶えてから何日もたって異臭のある人をおいびっていたため、命のあたたかせを感じたのだらう。灰となってしまった町にも命のともしびがあるという事を感じた人の話は初めて聞いた。今日の話を聞いて、原爆の事に対する理解をさらに深める事ができた。これからもいろいろな話などを聞いて理解を深めていきたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

とても衝撃的な印象で、特に被爆者の様子のところは、想像するととても悲惨な姿が目に見え、こんなことが昔、現実にあっ、たんだと思いました。今回の原爆先生の特別授業で、絶対に今後、戦争なんてことをしてはいけないと、改めて強く感じました。最近では、集団的自衛権や安保法案など、政治問題でも戦争関連の話題が増えていますか、何が正しいにせよ、しんちょうに物事を進めていかなければならないと思いました。また、戦後70年ということでも、戦争を実体験した人々の高齢化も進んでいるので、私達のような世代の人が、この記憶をつなげていかなければ、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆の話聞いて、改めて、戦争の残酷さ、悲惨さを感じました。

当時、当然原爆を投下され、ものすごい熱さの中、実際に体験した人しか分からない。想像よりもかけはなれた苦しみを味わったことが伝わりました。

被爆者の残酷な姿など、想像するだけで心がいたみました。そして、そういう被爆者を助けようとした救助隊がたのもしく思えました。

現代の日本人は、この戦争のことを知らない人が多いので、これからの未来に、多くの人がこの戦争下でせいに なりてな たことを忘れられないよう、伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、戦争のおそろしさが今まで自分で思っていた戦争よりもとても残酷で、つらいということが分かった。

8月6日の午前8時15分頃に原爆は広島に投下されたことが今では分かるが、当時の人たちは全然知らなかったなので、そのような事も考えると

どれほどかわかったのがよく分かりました。原爆については全然知らない事を沢山教えてもらって、例えば、中心の温度は100万℃

あり、まわりの温度は7000℃で太陽よりも熱いことが分かりました。

他にも、衝撃波の速さが秒速440mで音速よりも速い、

などが分かりました。ぼくは、5年生の時の冬休みに長崎の

原爆資料館に行って、池田先生が言っていた通りに、皮膚が破れて

いたり、一瞬のうちにあと11うまに広範囲が広の海で、広島も長崎も

とてもおそろしい事があったというのがよく分かりました。そのプリントの資料

の一番最初に書いてあった「7000℃の少年」の少年は原爆のリトルボーイのことで、

まわりの熱さが7000℃だから7000℃の少年じゃないかと思いました。

いろいろな話をしてくださって本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/6

ぼくはこの授業を聞いておもったことはやはり改めて
思い、戦争は何人の価値もなくたぶらの人の殺し合いだと思
いました。アメリカは日本を原爆の起点にし広島、長崎を実験台に
作ったけどこの原爆を作った次はどこの国をターゲットにしていたのか
たぶら日本だけをターゲットにしていたのかそこが気になる。

自分の考えですがアメリカはなぜこのような恐ろしい核兵器を
落としたのかおいたいは予想がつかない物を落としたのか何の罪の
ない広島市民の命を一瞬にしてうばっていたのか？たぶらの人殺目当てで
使ったのなら絶対にゆるせないとおもいます。

今日原爆先生の話を聞いて、爆発したときにできる球体の中心温度が
100万℃、外側でも太陽より1000℃高い、7000℃、被爆の真下にいた人は
あとも残らず消えていくのは想像もつかないほど怖いなと思いました。
ウランは全部破壊してしまふた、自分は広島町の町の下までえがれてしま
うのではないかなと思えます。

最後に戦争は、このように罪のない人の命までうばってしまうこのような
価値のない争いはこれからの未来絶対に回でもしては
ならない物だと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は戦争は体験したこともないからせんせんよく戦争のことをしらなかつたけど今日の話しを聞いてとてもひばく者の人々はとてもつらかったことがよく心にひびきました。でもひばく者の人たちはなぜこの場所なのかなぜこんな場所をばくはさせるのかときもんに思ったのでまなかつたのかなと思いました。話しを聞いたアメリカがおとしたかくへい機はいろんな人をくるしめるとても危険なものなのでこういうかくへい機はもうにとと同じことがおきないようにかくへい機がない世界であつた方がいいなと思いました。このことはすごく大きな人かなくなつたりしているのでこのことは一生わすれずにいろんな人にうけついでいくことがいや。(は)り大切かなと思いました。ぎせいの方のこともむだにしなつたためにもこのことは世界中のたれもがしておくべきなのではないかなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いて原爆というものはとてつもない

はかい力と、恐しさを持っている当時、最強の武器だと思いました。

広島と長崎に落とされた原爆によって何万の死者を出した。

ただ戦争なんかしても、何万の死者を出すだけで何も得ないものを

なぜ日本はやっていたのか。

日本だけじゃなくて世界中のどの国も戦争をしないところかなさ。

この世は平和になる。たいれもかそれを望んでいるでしょう

原爆先生のお父さんが原爆が投下されたあとの広島を見たときは

「広島では何か起こったんだ」と感じたと思います。

原爆ドームは原爆の石炭かいかと悲惨さ。このような

悲劇が二度とくり返さないように世界遺産に登録されたし

思います。

原爆先生のこういった話も未来社会を作っていくぼくたちに

こういうことを話しぼくたちが大人になるころには

平和な社会が築き上げてほしいからだと思います



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今までぼくは戦争はいけないもので決して良いものではないということは十分理解していたが、原爆先生が本を読んでくれた時の本の内容から分かった具体的な様子や原爆先生のお父さんが話をしている途中に泣いてしまったことなども辛かったことなどが分かりました。この体験で、戦争の被害者たちとこれほどつらい思いをしていたことがわかりました。

また原爆先生のお父さんが実際に戦争に会った時、けがをしていた女性の手当をしてお風呂をしていたときその女性があたたかかったとかいてあり死体の作業をしている時は死体があたたかかったと本に記していました。ほとんどはこれは物理的なあたたかさ、冷たさだけではなく、けがをしている婦人をも死に助けようとしていた弟の思いやりを含め、様々な人々の思いやりの心で優しさを感じたからなのではないかと思いました。そう考えると戦争による人々から失われたものは人の命など物理的な物だけではなく、人々との優しさや思いやりの心もあるのではないかと思います。こうしたことから、このような過去があって現在に至っているということは考えはならないことだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の授業を受けて、一番やっぱりいけないところが人間と人間の戦いで、原爆と人間が作りあげたものを一瞬で破壊してしまうものを生みだしてしまったことが恐ろしいと感じました。今日で、世界のどこかで、戦争はおきていて、また誰かが亡くなっている。また、人間が生きていくとして「地球が温暖化」を止めなければいけないのではなく、まず原爆と世界中の人間が、^{世界の中の人間が}これを生みだした人間について考えてほしいと思いました。生きることの大変さ、死ぬことばかりじゃないが、なぜ人間は生きていく感じの力について考えてほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/8

ぼくは、原爆先生の話聞いて、戦争、て怖いなあと
改めて思いました。まず、おどろいたのが、原子爆弾の
いりよくです。熱線は、太陽の表面温度より熱く、
そのあとに来る衝撃波は、音速より速く、屋外にいた
人はその熱線と衝撃波を頭上から受け、一瞬で
消えたという話を聞くと、怖がらずにはいませんで
した。それと放射線は、生き残った人も原爆病に苦し
んでいるといい、とても悲惨だと思いました。次に、
「1kg」です。この「1kg」はウランという物質で、
たったゴルフボール1個分の量であんな破壊を
起こすことができるなんて、本当にび、くりしました。
広島、小倉、長崎の全ての天気が悪かたが原子爆
弾は投下さあなかたというのは、いい事でもあるし、逆
に言えば原爆があ、たから学べたものがある
あるので、戦争で亡くなった人々の命は決して無駄
にはなっていないし、この学んだことかと言えりことは
や、ぱり戦争はや、てはいけないということなんだろう
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/6

ぼくは原爆先生の受講する前に、
 「日本の核廃絶決議案 米英仏一転云棄権
 という記事を読んだ」。ぼくにとって特別授
 業の話にひどくしょうがまを受けた。
 ここまでぜんぜんで非人道的な核を許
 せないし、核はあつはならぬと思ふ。
 アメリカイギリスフランスは日本の核廃
 絶案の「非人道」強調に警戒感を示し
 一転云棄権した。この事にぼくは怒りを
 覚えた。どうしてわかてもらえないのだらう。
 「敗戦国という壁のせいかな、それとも
 自分達が核保有国であるからだろうか？
 今日の話を聞いてぼく達は、さまざま
 な事を考へるかなせ、世界に発した時に
 理解してもらえないのだらうか、それ
 が、ぼくは、悲しくてくやしい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

11/6

原爆先生の話を知って、核兵器のおそろしさを知りました。核兵器は、一度に何万人もの人を殺してしまいます。70年たっても、放射線の影響で病気になり苦しんでいる人もたくさんいることも知りました。核兵器は、こんなにおそろしいものなのに、今もまだ保有している国がたくさんあります。広島は、そのような悲劇を二度とくり返さないように、それを世界に伝えるために保存されてきたので、今、核兵器を保有している国にも平和人の思いが伝わってほしいなと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生の話を聞いて今までは
 どの事だとは思っていたけど原爆先生の話を
 聞いてから少し意識するようになりました。
 昔の技術では広島町の町を石皮土裏できる原
 爆が最先端+ゴッパの今の技術だ
 と昔の1000倍の威力の原子爆弾を作れる
 ためなので今戦争が起きたらどうなろう
 んだろう、と思いました。

爆発の中心が900万度で表面が8000度で
 太陽の表面が7000℃で地上は3000℃で鉄は
 1500℃でかき焼ける人間は一瞬で体の中の水分が
 蒸発しすみにくくなって体が1000倍のいびき
 出して死んだら全員の命を失ってしまおう



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

今日原爆先生の話をきいて
この戦争は日本に大それた
ことをおしえてくれたと
思います。なぜなら戦争で
多くの人々がなくなりました
たし、大きなひかひかがあった
ので、日本はもう戦争を
しないことができた。
なのでこの戦争は日本に
大きなえいきょうをあたえた
と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、改めて原爆の恐ろしさが分かりました。なぜなら死亡率が40%もあるからです。その理由は、地上ではなんと3000℃もの熱線が当たり、音速340mの衝撃波が来て便に放射線を浴びて、原爆病になってしまうからです。

その中でも特に危ないと思っただのは、地上では3000℃もする熱線です。鉄も溶かしてしまう熱線が人間の体に当たるなんて、想像もつかないからです。そのため元は広島県産業奨励館だった建物は、ほとんど骨組だけになってしまい、原爆の恐ろしさを伝える原爆ドームになりました。

このように、原爆先生の特別授業を受講して、改めて原爆の恐ろしさが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ほは、原爆先生の特別授業を受けて源資ぼくたんがど
れだけ危険な道具かがわかった。

あんな小さな源資ぼくたんだけで何人もの命をうばり何人
もの人につぶし思ひをさせたのかと思うとすごく悲しい金持
になる。

原爆先生のお父さまがどれだけ痛い思ひをしてい子人を
みてどれだけつらい思ひをしたのかを考えるとすごくどんこくな
る。

この話を聞いてもう源資ぼくたんはにどと使わないう
ほしいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、池田真徳先生の特別授業を受講して、戦争のひどさに衝撃を受けました。戦争を体験したことはないけれど、その痛さ、苦しさ、幸さ、悲しさが目にうかびます。また、原子爆弾「リトル・ボーイ」についてのことも心に残りました。原子爆弾40をった飛行機エノラ・ゲイは、投下都市第1候補である広島に、原子爆弾リトルボーイを投下しました。エノラ・ゲイから完全に切り離されたリトル・ボーイは、重力によって目的地に落とされていきました。その後、島病院の約600m上で爆発し、球体にくれあがりしました。その中心部の温度は100万°C、外周は7000°Cで、太陽の表面温度と外周を比べると、外周の方が1000°C高くなっています。そして、600mはたいたリスカイツリーの第2展望台の部分なので、太陽がそこまで近付いたのと同じようなことなのです(大きさは考えない)。

私は、とても強い威力をもつ原子爆弾が投下されたことから、その可能性のある戦争は絶対にはいけない行いなのだ"と心から思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

前に色々な話を聞かせて頂き誠にありがとうございました。その話の中で僕が心に残ったのは原子力爆弾の大きさと温度(あつ)いでと池田さんの父が十七歳で兵隊になり原爆の時に池田さんの父が広島にいたと言った時です。まず、ほ"くはなせ" 原子力爆弾の大きさと温度について心に残ったかと言うと、大きさはなんと200mというなんとも大きな米女でびっくりしたからで、温度は郊外の表面温度よりもあついということをしたからです。次に池田さんの父の話についてです。なぜ心に残ったかと言うと池田さんの父は20歳が徴兵令の時なのに17歳で兵隊になったからという理由とドラムカんで命が求女あれたのに感心重かしたからです。池田さんに話が聞けてよかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/6

戦争はくり返してはいけなとあらためて
感じました。

ひばく者の苦しさや痛さ、

助けられないかなしさがよく伝わりました。

私は、広島にいったことがないので、

ひばく国の国民として、

一度行ってみたいと思いました。

夏休みの間に平和記念公園の式典も、

一度しっかりとみてみようと思いました。

今回のお話でいろいろなることを
学ぶことができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/6

今回の話を聞いて改めて原爆の恐ろしさを知りました。広島や長崎に原子爆弾が投下された日は知っていたけど、あまり興味がありませんでした。でも、池田さんの「この話をいろいろな人に知ってもらいたい」という強い気持ちが伝わってきました。私は2年生のころ一度広島に行ったことがあり、原爆ドームや資料館にも行きました。その時はまだ何も分かっていなかったけど、今考えてみると貴重な体験だ、たんだと思います。今、日本は平和な国だけど戦争をやっている国はあると思います。原爆の恐ろしさを世界に知ってもらい、戦争のない世界にしたいなと思います。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回原爆について学んで原爆の恐ろしさを知りました。太陽よりも1000℃近く熱い原爆がおち、その熱さに苦しんだ、広島、長崎の人たちは、とても怖かったと思います。そしてその怖さは、今でも心に残っているのだと思いました。原爆先生のお父さんが原爆ドームに行き、「はれいすきる」と放ったその一言で、当時原爆を体験した人にしか分からない、誰にも想像できない恐ろしさがあったのだと思います。想像できない分、その怖さを理解しようとする私たちの姿勢も大切なのだと思います。

これから、私たちは原爆への恐ろしさを、世界へ伝えていくべきだと思います。戦争を体験した人から、その恐ろしさをみんなが知り、原爆をおとしはいけないということ让世界共通の意見として持つべきだと思います。日本は唯一の被爆国として、原爆の恐ろしさを伝える義務があると思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾の事についていろいろな事
が分かり、他の人にも教えたくな
りました。

そして原子爆弾が投下されたこと
により今でも苦しんでいる人がいる事
を知り、戦争のおそろしさを感じました。

そして池田義三さんに起こったいくつかの
幸運により、池田義三さんが助かった事
にとってもおどろきと覚えました。

そしてまだこの世界に原子爆弾が
残っているという事実はみど
めてはならないと思いました。

これからの日本は、いつまでも平和
な国であってほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私はあらためて戦争は危険で絶対にしてはならないものだと思いました。そしてお話の中
の原はくドームのとなりの川にとびこんで死んで
しまった人のことを考えると急に涙がおおれてきます
そして原はく先生のお父様の仕事での
話の中で「死体と運ぶ時に七くなった
方の顔が自分の顔の横にきた、や皮ふの中につい
虫が入ってしまった」、「皮ふがとけて赤い肉や骨
が見えている」などと今考えるととりはたがた、
て考えられなくなることということが実際起きて
いたと思うと信じることができません。
そして今、集団的自衛権で戦争のことについて
話題になっていますが、私は絶対に反対です。
「人を殺す」というのは絶対にまちがえていると
思っているからです。

原はく先生のお父様はお年寄りなのにあんな
に戦争のことについて覚えているということも
戦争は忘れたくても忘れられないそして辛か
たからだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「ぼくは原爆をあまり知らなかったけど
原爆先生をどうし原爆のひさんご命のたいせつ
さをしりました。せんそうは人の命をとりたいせつ
なものをうばうことだと思いました。
今、あふあふせんやせんそうが「お」にっているちきや
国はやめとほしいと思います。」



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話聞いてその時の原爆の辛さが伝わってきました。原爆先生の話は目を向けて聞いていましたが、「体同士がこすれ合って皮が...」という生々しい表現がとても痛らしく、思わず目を背けたくなるほどでした。助けを求めている人を助けることができず、素通りした、真、黒にこげた人かどうかもわからないものが同じところにおかってゾロゾロと歩いている、という辛いエピソードが続き、もうたえられなくなりました。「何がこんなにも、広島を痛めつけたのだろうか？」それが私の素直な感想でした。その答えはすぐにできました。ウラン1kg、ゴルフボールほどのものだったのです。「ウラン1kg」。それだけが広島を痛めつけたと知り私はおどろきました。それと共に命の尊さを改めて感じました。

このことから私は、自分のことよりも相手のことから...つまり、自分の命よりも相手の命から大切にしたいと思います。



じゅこウ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ウラン 60 kg 中 1kg が爆発なからというのほ恐ろ
 間違いだと思ふ。一次が kg であり、その後小規模な爆発
 がいくつも起きたのでは無いかと思ふ。その時、残り 59kg
 をほとんど爆発したのであり、1kg だけという事はない
 と思ふ。

アメリカのえらい人は皆、「俺人で原爆を落としたん
 だ」と問われると、「そちらが先に手に入れていたら落とし
 ていたたろう？」と答えるらしい。確かにそうかもしれない
 が、あの事について責任から逃がれようとするア
 リカは、よくないと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

とてもわかりやすく、70年前に
タイムスリップしたかのような
また、お話の中で言っていたように、いつ
原爆が落ちるか、とてもそわそわして
しまいました。私は今まで、自分たちは
戦争には関係無いと思っていましたが
今日のお話を聞いて70年前の人たちの
悲しく、つらくて、苦しい、などの
気持ちがすごく心に刺さりました。
それらの気持ちを乗り越えて今の
「平和」な戦争の無い日本があるの
だと感じました。これから今日感
じた恐怖や悲しみを乗り越えて次の
時代へとつなげていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の特別授業をして思ったことはトルボーイ（ト）としてあつく太陽よりあつ（い）とゆうことでそんなトルボーイみたいなものがあつきたらここにみんなにいる人ほとんどいなくなるかなって思ってます。ぼくはトルボーイというものがあつ日本にこないのでも安心です。原爆先生にいろいろなことをあつえてあげました。ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、夏休み前の宿題で原爆について調べたことがあり原爆とはとてもおそろしいものだと思っていました。そして、今回の授業を受けて原爆とはとてもおそろしいということも改めて知ることができました。

この授業で一番おそろしいことはウランがすべて爆発していたらあの爆発は60倍にもなっていたということです。そのことを考えたらもしかしたら日本そのものがなくなっていたかもしれないということです。

世界には、広島や長崎におとされた原爆より威力が強いものがたくさんあります。また同じことをくりかえさないためには原爆を使ってはいけないという気持ちが大丈夫だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

このあいたは、きょうはおはなしありがとう
ございます。お話をいただいたお
かげで、戦争がどれだけこわい
かわかりました。はくたごんのことも
くわしくしりたからたので、お話が
とてもたのしくまいました。ありが
とうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争はとても残酷なものだ
思いました。殺されかけていた人たち、
原爆が原因で亡くな。こしま、た人たち
の姿のひどさ、聞いていいるだけでも
伝わ。てきました。あと爆まつ
すこさ、地面に落とされただけで、一瞬
で人が焼けて死んでしまうなん
てとてもつもなく恐ろしいものだな
思いました。あと兵たいさんも
スゴいなと思いました。食べ物
もおながい、はい食べれるわけ
じゃないのによくたえられたなとも思
いました。池田さんの授業を受講
して、「戦争」や「原爆」の残酷さが
とてもよく分かりました。も。とこの
ことを知りたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください。

原爆は、恐いことはわかっていたけど、こんなにもさくたくたとは思いませんでした。原爆の話
を聞けば聞くほど悲しさをやっがさが伝
わってきて、もし自分がひ爆者だったらと考える
と心が痛くなってきました。世界では、原爆よ
りも何十倍も力のある兵器が作られている。
と聞きましたか、将来日本がそうならないように
自分達で平和を作り、世界でもそんな兵器を作
って何十万人の人が死なないようにもしていきたく
いと思いました。今日の授業で戦争のこともよくわ
かり、原爆の恐しさを改めて感じるこしかできたの
で本当に良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して思。た事は2つあります。1つ目は原爆のボーイは太陽より熱く、ひらがとけてたれさが、てしま。うことにおどろきました。ぼくの好きなマンガはだしのゲンでおぼえたこととはまたくちがいました。2つ目は死んだ人やひらに大きなやけどを負っている人の手や足にうじ虫がついている事と皮がめくれていることです。ぼくはうじ虫とは動物の死体にいるものだと思。ていました。でも生きている人にいるなんてとてもおどろいてびっくりしました。手足



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は原爆のことについてくわしく説明・お父様の体験についてお言葉をいただきありがとうございました。ほく人は、もともと原爆について興味があり今年の夏休みに広島に行。て実際に原爆ドームや原爆資料館にも行きました。でも今回お話ししていただいたことによりさらにくわしく分かりました。そしてこれからも原爆のことについて興味を持ち続けて、さらにくわしく調べていきたいと思。います。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生のお話や動画などをきいて始めて戦争の恐ろしさや、悲しさ、切なさを知りました。戦争は多くの人の命、笑顔、喜びを奪うのに何故戦争をするのか疑問に思いました。命をぎせいにしてもでやるのはおかしいと思います。うまれてきた命をムダにするのは悪い事だし、命は一つしかないのでもうまれてきたばかりの子は、何もしないでばくだん(リトルボーイ、ウラン235、エノラゲイ)にあたってせくなってしまうのは悲しすぎなので何かあってもしてはいけなさと、原爆先生の授業を受けて分かりました。でも、この(戦争)お話がきけて、命の大切さがすごく分かりました。戦争でせくな、た人の命をムダにするところだったのでこのお話がきけて良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業を受けて原爆のおそろしさを今までよりも感じるようになりました。なぜなら、アメリカ軍は新しく作った爆弾がどんな感じかを知りたいために日本の広島に原子爆弾を落したか一回だけじゃわからないので長崎にも原子爆弾を落したからです。そして、びっくりしたこともありそれはアメリカが原子爆弾をより効果的に使うために原子爆弾投下の条件を作っていたからです。最後に原爆先生が言っていたのですが、昔の原子爆弾の威力は強いが今の原子爆弾の方が1000倍以上の威力があるとぼくはびっくりしました。これからは、戦争の無い世界にするために戦争のこおさを広めていきたいです。



名前を裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

11/8

ぼくは、原爆のことについて最初はあまり知らなかった
たので、原爆先生の来る金曜日をとても楽しみにして
いました。原爆先生の特別授業の中で印象に残っ
たのは、2つありました。

1つ目は、原爆にやられ、原爆先生のお父さんの乗っ
ているトラックに一生懸命に乗ろうとしていたお婆様まで
海軍乗組員に殺されました。それは、原爆先生が言うから
こそとてもリアルに伝わりました。どんなに音読の練習を
人でも原爆の体験のことをよく知っている原爆先生ほどよく
伝わってくる話し方はないと思います。2つ目は、
貯水池に飛びこんだ人も水が蒸発してしまい死んで
しまうことです。その時、原爆のおそろしさをとてもよく
感じました。爆心地に近い人たちはどうしても助か
ないことを思い知らされました。

このような、どんな本を読んでも正確に分か
ないような貴重な話を毎週に話すために来てく
られてありがとうございます。この話は忘れ
ずに、他の人にも伝えていこうと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「原爆先生の特別授業で」一番心に残ったのは、爆心地の温度が3000℃だということです。そして原爆の火の玉の表面温度が7000℃で、太陽の表面温度6000℃よりも高いということにもとても驚きました。さらに、3000℃の熱で体中の水分がじょうろし、体は灰になり消えてしまふと聞いて、恐怖を感じました。

でも、その恐怖が戦争をさせないよにするのだと僕は思いました。でも、戦争が怖いということは戦争を知らないとい分りません。被爆国である日本は、戦争の恐さを世界に教えていかなければならないと思います。だから、僕は原爆先生に教わったことを他の人にも伝えていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の授業を通して、一番思ったことは、今は平和でいいなということです。当時は、戦争を日本はたくさんしていて、こわい国だったけれど、今はとても平和だからです。後から自分で調べて分かったことですが、当時は、政府にアメリカが無条件降伏を求めてきたが日本は、それを無視をしました。それを知ったアメリカはとてもおこって原爆を落としたり、連による満州への侵攻が起きました。ぼくは、このことを知ると、政府にとてもいかりを覚えました。政府は、無条件降伏を求めたアメリカに断わるのも無理はないが、それが原因で広島や長崎、満州へまで影響させてしまったことは、とても残念だと思う。また、終戦（8月15日）まで戦っていた、兵士の人々がかかえうに思えました。

そして、ぼくはこの授業を通して、「平和」の大事さを知りました。戦争は自分は体験していないが、後世に伝えていくことはできるので、戦後70年の今年だから、じゃなく、自分たちが大人になっても、続く歴史だと思うので、今後の日本に二度と戦争のない永久の平和を願いながら生きていこうと原爆先生の特別授業を受けて、改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくはこの特別授業を受講してこれほどのことをされる理由はどうしてかと思いました。たしかにアメリカは広島と長崎に原爆を落としてそこに住んでいた人は、40%が亡くなったけれどもこんなにまでひどいことをするのは日本も相当悪いことをしなければアメリカは原爆を落とさなかったと思いました。なのでアメリカは責任があるけど日本も悪いことをしたので反省する点はいくつかあると思いました。でも何も関係ない人を原爆で焼け殺したのはひどいと思いました。また原爆はそれほどの力があるのをしっていて落とすのはもともとひどいと思いました。そしてこのような状態で且かけてあげようとして手をさあると皮がむけてどうしようも出来ないでほとくのはどれほど悲しいことか話しを聞いてるだけでも感じられました。でも実際はもともとひどいものを聞いて原爆はおそろしい武器だと思いました。だからこの原爆のことをもといろんな人に伝えていかなければいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前を裏面に記入してください

ぼくは、原火暴先生の話をきいて
思ったのは、原火暴は、広島と長崎におち
たというのしか矢口分なくて
よく話を聞いてるとなぜ長崎にお
ちたかというのをきけて原爆のこと
がよく分かりそれに火暴発音で
ドーンと急に言いヒッソリしまし
た。けれどそれがおもしろくて
話が止まるとまた言うのかなと思っ
ました。あと原爆先生のお父さん
がはいけんしてその博物館にいったら
実際に見たのよりキレイすぎるといっ
たのでそんな子に大変だったことが分
かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お話を聞いて原爆のことについて改めて知りました。70年前、日本でこんな大変なことが起こったということ、絶対に忘れてはいけないと思います。このことを忘れてしまった人、または、このことを知らない人に、教えてあげたいと思います。このようなことが、二度とあってはいけないと思います。原爆のことを、今後一生忘れないようにしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、とても悲しい気持ちになりました。特に、手をつないでいた母子が原爆のせいで一しゅんと消えてしまったという証言を先生が話している時が一番辛かったです。あのとき、その母子はどう思っていたのか、その光景をみていた人はどう思ったのかと考えると嫌な気持ちになりました。

また、エノラ・ゲイの話で機長・チベットの母親の名前を機体につけたという話を聞いておどろきました。自分なら、人殺しのために使うものに、自分の名前をつけてほしくないからです。

わたしたちは、原爆や戦争の悲しみ、口惜しさ、苦しみなどを考える。原爆、戦争での被害者の方々の思いが未来にも残ってほしいなと思いました。